

取材訪問記

松山駅前では、早咲きの桜が咲き始めた 3 月 23 日、編集委員 4 名にて、愛媛県今治市に本社を構える株式会社コンヒラを取材させて頂いた。震災の影響で、関東地区の編集委員が参加できなくなったため、少人数での取材となった。

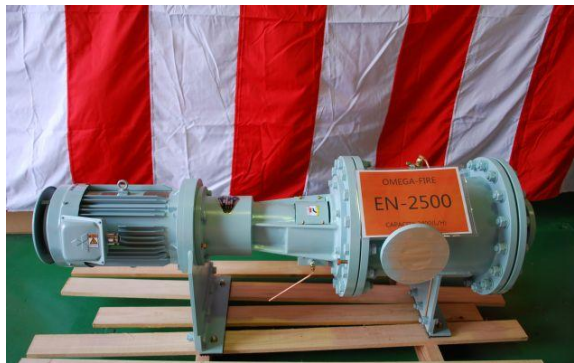
はじめに会議室にて、山本代表取締役会長に、商品の誕生に至るまでの経緯や重油の精製工程などを熱心に説明頂いた。その後、組立工場で、紅白幕の前に陳列された商品を拝見しながら森田統括営業本部長を始め 3 名の職員の方に商品説明をして頂いた。株式会社コンヒラは、船用重油の粘度調整機器、スラッジ処理機を得意とするメーカーである。我々の石灰業界とは疎遠であったが、再生重油を使用する石灰炉では、ハンドリングに困っているという点と、スラッジを含む低質油を改質できるという点で接点生まれ、現在では数社の石灰メーカーと取引がある。

今回、主にアピールして頂いたのは、オメガファイヤーという商品名の燃料油スラッジ粉碎機である。そもそもこの商品は、昭和 56 年頃、海外製の 1000～1200 万円という高価な燃料油スラッジ粉碎機に対抗して開発されたものである。船舶用重油の粗悪化により需要が高まるなか、山本会長が研究の末、開発に成功した。高価な海外品に比べ、安価で、同等の性能になっている。重油中のスラッジは、タンク内で水分の酸化作用、異種類の油との反応で生成され、シリカや鉄を核として成長している。オメガファイヤーは、このスラッジを DS プロペラとハイタービューレンスプロペラにより粉碎することで、流体化させ、ストレーナから排出されるスラッジを減らすほか、ハンドリングを向上させる。再生重油は、船舶用重油と由来が違うが、再生重油用としても実績を持っている。

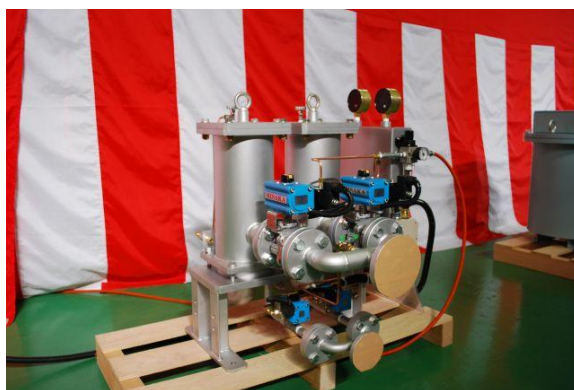


本社会議室にて

オメガファイヤー：スラッジ粉碎機。縦型と横型がある。写真は、横型。粉碎能力は横型の方が大きく、再生重油には横型が適している。



NHFS/NHLS 型自動逆洗ストレーナ：差圧制御で逆洗を行うオートストレーナ。オメガファイヤーと組み合わせて使用することで、再生重油を使用する際の労力の削減が期待できる。



HE 型エコノミープレンダー：粘度調整、硫黄分調整を行う。他にも鉱油、動植物油、バイオ燃料などの混合を行うことが出来る。場内で発生する廃油の混合や、エレメント廃液の混合も可能である。



省エネ塗料：燃料関係の他に省エネ塗料も取り扱っている。防音効果、遮熱効果、抗菌効果、結露防止、サビチェンジ効果（錆転換防錆防食効果）。森田統括営業本部長の実演販売を思わせるような熱の入った商品説明であった。



取材を終え、山本代表取締役会長の燃料に関する知識の深さ、仕事への情熱に圧倒されたことを思い出し、また、株式会社コンヒラの商品が我々の使用する燃料の悩みを解決してくれることを期待しました。



玄関正面にて

中央：山本代表取締役会長、最左：森田統括営業本部長、最右：陳チームリーダー

最後になりましたが大変お忙しい中、取材にご協力頂き厚く御礼申し上げますとともに、株式会社コンヒラのご発展をお祈り申し上げます。

(編集委員 藤木 修治 記)